

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58' 33.55"		
				経度	140° 30' 51.55"		
神社参道橋 (フリガナ)シヅヤサトウハシ		神社通り					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道岩内町	2019.11.25	運上屋川	無	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				佐藤 啓大		点検責任者		佐藤 啓大		
点検時に記録				措置後に記録						
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		変状の種類		措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	III	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01						
	横桁									
	床版	III	うき・剥離・鉄筋露出	写真003,床版03						
下部構造		III	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01						
支承部		I								
その他		III	漏水	写真006,伸縮装置02						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録				措置後に記録			
(判定区分)	(所見等) 主桁、床版、下部工沓座拡幅部の断面補修を実施することが望ましい。伸縮装置からの漏水を抑えるため取替を実施する事が望ましい。			(再判定区分)		(再判定実施年月日)	
III							

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">起点</div>  <div style="text-align: center;">終点</div> </div>
1963年	8m	6.50m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>上部構造・横桁()【判定区分: 】</p>
<p>写真3 上部構造・床版(床版03)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅲ】</p> 

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真5 支承部()【判定区分: I】</p>	<p>写真6 その他(伸縮装置02)【判定区分: Ⅲ】</p> 
<p>—【判定区分: 】</p>	<p>—【判定区分: 】</p>

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 58' 32.74"	
				経度	140° 31' 4.65"	
老松橋 (フリガナ)オイマツハシ	幌似街道八幡通り					
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道岩内町	2019.11.25	運上屋川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				佐藤 啓大		点検責任者		佐藤 啓大	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	III	剥離・鉄筋露出	写真001,主桁31					
	横桁								
	床版	III	漏水・遊離石灰	写真003,床版02					
下部構造		III	剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01					
支承部		I							
その他		III	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁、下部工の断面補修及び地覆補修を実施することが望ましい。橋面防水及び伸縮装置取替を実施することが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 起点  終点 </div>
1961年	8m	10.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の


○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1 上部構造・主桁(主桁31)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>写真3 上部構造・床版(床版30)【判定区分: Ⅲ】</p> 
<p>写真4 下部構造(下部工01)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>支承部()【判定区分: Ⅰ】</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真6 その他(地覆01)【判定区分: Ⅲ】	—【判定区分: 】
	
—【判定区分: 】	—【判定区分: 】

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	42° 55' 54.76"		
				経度	140° 24' 40.18"		
雷電うきよ橋 (フリガナ)ライデンウキヨハシ		親子別雷電鉱山線	北海道岩内郡岩内町敷島内				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)	
北海道岩内町	2019.11.25	親子別川	有	一般道			

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

		点検者	佐藤 啓大		点検責任者	佐藤 啓大	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	III	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		I					
支承部		I					
その他		III	変形・欠損	写真006,高欄・防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁の断面補修及び防護柵の補修を早期に実施する。橋面からの水の供給を抑えるため橋面防水・伸縮装置取替を実施することが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員		
1965年	6m	6.0m		
起点			終点	



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真1 上部構造・主桁(主桁01)【判定区分: Ⅲ】</p> 	<p>下部構造()【判定区分: Ⅰ】</p>
<p>支承部()【判定区分: Ⅰ】</p>	<p>写真6 その他(高欄・防護柵02)【判定区分: Ⅲ】</p> 